

製品安全データシート

改訂日：平成 22 年 8 月 1 日

1. 製品情報及び会社情報

製品名	: クオルトスシリーズ ST-439 試薬
構成試薬	: 抗体結合磁性微粒子液、酵素標識抗体液、標準溶液 1～5、希釈液
会社名	: 株式会社カインス
住所	: 東京都文京区本郷二丁目 38 番 18 号
担当部門	: 開発部
電話番号	: 03-3816-4115
FAX 番号	: 03-3816-4970

2. 危険有害性の要約

製品としてデータなし（含有している成分で以下の情報が報告されている）

危険有害物質 1 : アジ化ナトリウム

GHS 分類

物理化学的危険性	: 自己反応性化学品	: タイプ G
健康有害性	: 急性毒性（経口）	: 区分 2
	: 急性毒性（経皮）	: 区分 1
	: 皮膚腐食性・刺激性	: 区分 1C
	: 眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 区分 1
	: 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 区分 1（循環器系）
	: 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 区分 1（循環器系・肝臓）
環境有害性	: 水生環境有害性・急性	: 区分 1
	: 水生環境有害性・慢性	: 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと生命に危険（経口）、皮膚に接触すると生命に危険（経皮）、重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷、重篤な眼の損傷、循環器系の障害、長期又は反復暴露による循環器系・肝臓の障害、水生生物に非常に強い毒性、長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等を着用すること。眼、皮膚又は衣類に付着させないこと。粉塵を吸入しないこと。取扱い後はよく手洗いを行うこと。

【応急処置】

吸引した場合

: 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 口をすすぎ、無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

: 水で数分間、注意深く洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

: 大量の水と石鹸で洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

衣類に付着した場合

: 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。汚染された保護衣を再使用する場合は洗濯すること。

暴露した場合

: 直ちに医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

: 施錠して保管すること。

【廃棄】

: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託すること。

危険有害物質 2

: ポリ（オキシエチレン）ノニルフェニルエーテル

GHS 分類

健康有害性	: 皮膚腐食性・刺激性	: 区分 2
	: 眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 区分 2A
	: 生殖毒性	: 区分 2
	: 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 区分 2（心血管系、肝臓）
環境有害性	: 水生環境有害性・急性	: 区分 1

製品安全データシート

改訂日：平成 22 年 8 月 1 日

GHSラベル要素
絵表示



- 注意喚起語 : 警告
- 危険有害性情報 : 皮膚刺激、強い眼刺激、生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い、長期又は反復暴露による肝臓・心血管系の障害、水生生物に非常に強い毒性
- 注意書き
- 【安全対策】 : 保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用すること。ミストを吸入しないこと。取扱い後はよく手洗いを行うこと。環境への放出を避けること。
- 【応急処置】
- 眼に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 大量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 衣類に付着した場合 : すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。汚染された保護衣を再使用する場合は洗濯すること。
- 暴露した場合 : 気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。
- 【保管】 : 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

構成試薬名	化学名 CAS 番号	含有量	毒物及び劇物 取締法	労働安全衛生法	化学物質排出 把握管理促進法
抗体結合磁性微粒子液	-	-	-	-	-
酵素標識抗体液	ポリ(オキシエチレン) ノニルフェニルエーテル 9016-45-9	1.0%	-	-	該当 (第1種 No.410)
標準溶液 1	-	-	-	-	-
標準溶液 2~5	アジ化ナトリウム 26628-22-8	<0.1%	非該当*1,2 (第1条第1項)	非該当*1,2 (政令第9号)	非該当*2 (第1種 No.11)
希釈液	-	-	-	-	-

*1 体外診断用医薬品であるため法の適用外

*2 規定濃度以下であるため法の適用外

4. 応急措置

- 吸引した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にする。必要に応じて医師の手当てをうける。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水で、15分以上洗い流す。外観変化や痛みが生じた場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着又は接触した部分を大量の水で十分に洗い流す。外観変化や痛みが生じた場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに大量の水で口の中を洗い流す。速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 引火及び燃焼の恐れはない。
- 使ってはならない消火剤 : なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 直接皮膚に接触しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : なし
- 封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は拭き取る。大量に漏出した場合は、大量の水で洗い流す。

製品安全データシート

改訂日：平成 22 年 8 月 1 日

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的施策	: 眼、皮膚及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。容器に大きな衝撃、落下、転倒等を与えることや、引きずるなどの粗暴な取扱いは禁止する。
局所排気・全体換気	: なし
注意事項	: みだりにエアロゾルが発生しないように取扱う。
安全取扱い注意事項	: アジ化ナトリウムは、鉛、銅等と反応して爆発性の高い化合物を発生するおそれがあるので、取扱いに注意する。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避け、2～10 遮光で保存する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: なし
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 設定されていない
保護具	: 白衣、保護手袋、必要に応じて保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

	抗体結合磁性微粒子液	酵素標識抗体液	標準溶液 1～5
外観（色 / 形状）	: 褐色懸濁 / 液体	: 淡黄緑色 / 液体	: 無色～淡黄色透明 / 液体
臭い	: ほとんどない	: ほとんどない	: ほとんどない
pH	: 中性	: 中性	: 中性
融点・凝固点	: データなし	: データなし	: データなし
沸点	: データなし	: データなし	: データなし
引火点	: 不燃性	: 不燃性	: 不燃性
発火点	: 不燃性	: 不燃性	: 不燃性
密度	: データなし	: データなし	: データなし
溶解度	: 水に易溶	: 水に易溶	: 水に易溶

	希釈液		
外観（色 / 形状）	: 無色透明 / 液体		
臭い	: ほとんどない		
pH	: 中性		
融点・凝固点	: データなし		
沸点	: データなし		
引火点	: 不燃性		
発火点	: 不燃性		
密度	: データなし		
溶解度	: 水に易溶		

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	: アジ化ナトリウムは、鉛、銅等と反応して爆発性の高い化合物を発生するおそれがある。
避けるべき条件	: 重金属との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	: なし

11. 有害性情報

製品としてデータなし（含有している成分で以下の情報が報告されている）

危険有害物質 1	: アジ化ナトリウム
急性毒性（経口）	: ラット；LD ₅₀ 45 mg/kg、マウス；LD ₅₀ 27～45 mg/kg
急性毒性（経皮）	: ウサギ；LD ₅₀ 20 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギ；4hr で腐食性の報告あり
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 皮膚腐食性・刺激性より推測される
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	: 呼吸器・消化器等に対する影響の知見あり
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 動物実験で肝臓に対する影響の知見あり

製品安全データシート

改訂日：平成 22 年 8 月 1 日

危険有害物質 2	: ポリ（オキシエチレン）ノニルフェニルエーテル
皮膚腐食性・刺激性	: 中等度～強度の刺激性を示す報告あり
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 中等度～強度の刺激性を示す報告あり
生殖毒性	: 動物実験において胎児の発生に対する影響の知見あり
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	: 動物実験で肝臓・心血管系に対する影響の知見あり

1 2 . 環境影響情報

製品としてデータなし

1 3 . 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 大量の水で洗い流す。水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に従って処理する。
汚染容器・包装	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4 . 輸送上の注意

国際規則	: なし
国内規則	: なし
輸送上特定の安全対策及び条件	: 直射日光を避け、2～10 遮光で輸送する。転倒、落下、横倒しを避け、荷崩れの防止を行う。

1 5 . 適用法令

毒物及び劇物取締法	: なし
労働安全衛生法	: なし
化学物質排出把握管理促進法	: 通知対象物質 No. 4：ポリ（オキシエチレン）ノニルフェニルエーテル
その他	
薬事法	: 体外診断用医薬品

1 6 . その他

参考文献	: 製品安全データシート作成指針（改訂 2 版） : (社) 日本化学工業協会 安全衛生情報センター : http://www.jaish.gr.jp/index.html
------	---

注意 : 上記の記載内容は、現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しておりますが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いには十分注意してください。
また、注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いの場合には、用法・用途に応じた安全対策を実施してください。